

# 慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

2010  vol. 30

## 「志木会奨学金」の給費始まる

会員各位のご協力によりスタートいたしました「慶應志木会奨学基金」が平成21年秋から生徒への給費を開始いたしました。ご協力をいただきました皆様に感謝申し上げますとともに、現在までの経過ならびに今後につきましてご報告させていただきます。

### 1. 現在までの状況

母校、志木高は多くの「優秀な後輩の育成」という成果を上げてきています。ただ、近年残念ながら家庭の状況が急変し、経済的に学業の継続が困難になる生徒が毎年出ています。そのような実情から慶應志木会は20周年を期して、経済援助を通じて有為な人材の育成と教育の機会均等のため、長年の悲願であった「慶應志木会奨学基金」の設立を19年度幹事総会で決定し、同年11月より募金活動を開始しました。

卒業生はもとより、教職員ならびに在校生のPTAの皆様からのご寄付をいただき、平成22年4月末現在、31,203,367円となり、当初の目標を達成することが出来ました。

ご寄付いただきましたお金は慶應義塾の基金室に運用を委託し、運用益を給費します。給費者の選考につきましては志木高に一任しており、給費対象者の情報は一切公開されておりません。また、給費対象者は、将来にわたって奨学金を返済する義務はありません。

平成21年度秋に3名に各37万円(授業料50%相当額)の最初の給費が行われました。

### 2. 今後の予定

第1回目の給費にあたり希望者を募集したところ、時節柄予想以上の受給希望があったと聞いており、本事業に対する関心の高さが伺われます。しかしながら、現在の基金額は運用益を確保し、安定した給費を継続できる十分な額とは言えません。長期的に安定した給費の継続と給費対象者・給費額の拡大を図るために、志木会では寄付金の募集を継続することになりました。つきましては、是非ともご協力を賜わりたく、心からお願い申し上げます。

なお、今後につきましては「慶應志木会奨学基金」に用途指定をした寄付申込書が必要になります。寄付に対する税金の減免措置については従前どおり慶應義塾基金室から領収書並びに所得税、法人税の寄付金控除証明書が送付されます。

寄付をご希望の方や詳細についてお知りになりたい方は志木会事務局までお問合せ下さい。

TEL 048-471-1959 メール info@keio-shikikai.jp

### ◎募金は続きます

#### 募 金 要 綱

慶應志木会奨学基金

1. 募金単位 1口一万円

2. 払込方法 下記口座へ振り込みください。なお、申込書の記載が必要になりますので志木会事務局までご連絡下さい。

振込先口座一覧	三井住友銀行	新座志木支店	普通	6891296
	三菱東京UFJ銀行	新座志木支店	普通	1983046
	埼玉りそな銀行	志木支店	普通	4145297
	ゆうちょ銀行	郵便局から振り込む場合		10340-38162591
		他の銀行から振り込む場合		
		〇三八支店	普通	3816259

口座名義はいずれも 慶應志木会奨学基金 鹿野元章(ケイオウシキカイショウガクキキン シカノモトアキ)

## 慶應志木会の皆様へ

慶應義塾志木高等学校長 下村 裕



慶應志木会報第30号のご刊行、おめでとうございます。

桜の花が満開の今春、慶應義塾志木高等学校では、第60期生272名が学窓を巣立ち、261名の新入生が正門をくぐりました。卒業式では、志木会の鹿野会長はじめ役員の方々、そして卒業後40年を迎えられた第20期生の大先輩にご列席賜り、誠にありがとうございました。

私が着任いたしましたして早4年近く経過いたしました。その間、鹿野会長を初めとする志木会の皆様にはさまざまなご協力、ご支援をいただきました。特に、「慶應志木会賞」と「慶應志木会奨学基金」は、先輩の後輩を思う真心の賜物と感謝しております。生徒諸君は、先輩のご厚意に応えるべく、勉学に励み、またクラブ活動においてもめざましい成果を上げております。生徒・保護者ともども、この場を借りまして心より御礼申し上げます。

さて、志木高のお知らせとして、生徒のための新たなスペースとして「憩いの広場（仮称）」を今年度設置いたしますことをご報告させていただきます。

昨年度夏の「志木の森ツアー」では、担当教員とともに、河野文彦主事と私も生徒を引率いたしました。その折、どんな生徒も気楽に使える広場が志木高にはないとの指摘を複数の教員から受けました。放課後に軽い運動ができる、休憩時間にベンチで語り合える、あるいは特別な機会にバーベキュー等が楽しめる、等々、多目的使用のための広場です。

志木高の広い敷地をそのような目的で有効利用することは早急にとりかかるべき課題であると考え、河野主事とその場で相談し、設置可能性について検討することにしました。志木高には芝生の敷かれた場所があまりありません。イギリスのコレッジを参考に、美しい芝生が敷かれた中庭をイメージしました。費用の確保を杉本正明事務長に依頼し、塾の了解を得て今年度予算を得ることができました。こうして「憩いの広場（仮称）」を設置できる運びとなった次第です。

設置場所や形態についての具体的なプランを現場の教員方に諮問しましたところ、ホームルーム棟から見える竹林の前に芝生を敷設した広場を設置する答申が出て参りました。予算が許せば腰を下ろせる大きな自然石も配置するというプランの実現に向け、夏休みにも着工する予定です。しかし、「憩いの広場（仮称）」は今年度竣工すれば完成するものではありません。本当に生徒が憩える広場となるべく、生徒や教職員の意見が反映され、何年も時間をかけて徐々に使いやすい広場へと熟成していくことでしょう。

以上、お祝い、御礼、そしてご報告を申し上げましたが、最後にあらためまして、志木会のさらなる発展を心より祈念いたします。

### —— 志木高教員の動向 ——

退職	専任	五島 慶一君 (41期：国語科) (熊本県立大学文学部)
	講師	風間 勇樹君 他6名
新任	専任	小澤 純君 (国語科)
	講師	鳥海 奈都子君 他4名
訃報		橋本 迪夫君 (元国語科教諭) 21年6月 逝去

## ごあいさつ

慶應志木会 会長 鹿野元章



平素より志木会へのご協力まことに有り難うございます。 本年号の志木会報発行に際しご挨拶申し上げます。

去る3月24日(水)に、志木会役員と20期生の皆様を卒業式にお招きいただきました。式の終了後志木会入会セレモニーの中で4年目となる志木会賞を優秀な業績を挙げられた卒業生に授与させて頂きました。

志木会奨学基金の支給が昨年からはまり学内で大きな関心呼びました。今年になって土塊会様(旧寮生OB)の後押しにより初期の目標である3000万円を超えることができました。これからも志木高奨学基金として塾の指定寄付扱いを認めていただきましたのでさらなる基金の増強を願っております。

このほかにも多くの活動が行われましたことはメールマガジン等で御承知かと存じます。このような様々な活動が出来ますのも会員各位のご理解とご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝と母校の発展を心から祈念致しご挨拶とさせて頂きます。

 慶應義塾志木高等学校寄宿舎同窓会  
 「土塊会」からの報告

土塊会 会長 岡本經世

慶應志木高において40年の歴史と800名の出身者を出した有隣寮、高翔寮という寄宿舎が閉鎖され、早20年となりました。

この寄宿舎に在籍した卒業生で構成された同窓会「土塊会」は解散され、残余財産額2,211,647円を平成22年2月25日慶應志木会奨学基金に河野文彦主事、杉本正明事務長を通じて寄付しました。慶應志木高には、土塊会幹事の山口英昭氏、築山正俊氏、中村恵一氏が訪問し、舎監としてお世話になった大館清次元教諭、後藤邦吉元教諭、また志木会山崎嘉正副会長に立ち会って頂きましたことを合わせて報告させて頂きます。

高校時代という多感な時代に、寄宿舎生活を通じて学んだ多くの経験が、今日の自分を形成することになったと感じている土塊会会員が多くいる中、そうした思い出の寄宿舎がなくなった事は、寂しく残念なことでしたが、一方で政財界はじめ社会で活躍する人材が次々と志木会(土塊会会員からも)から輩出され、又受験難関校としても人気が高まっていると聞き卒業生として誇らしく感じておりました。

土塊会として、慶應義塾志木高及び慶應志木会奨学基金の更なる発展、充実を祈念しますと共に、これをもって土塊会会員の皆様に土塊会の解散が完了しましたことを報告申し上げます。

以上

# 枇杷の会ご案内

31期 湯浅 善衛

自然を愛する方々に朗報です。

私たち「枇杷の会」は俳句の会で、慶應志木会活動の一環として、東京近郊で3ヶ月に一回、既に約7年、計27回吟行しております。

ご指導を元国語教諭の本井英主宰にお願いしております。六義園、旧古河庭園、清澄庭園など都心の庭園を始め、最近は殿ヶ谷戸庭園、野川公園など郊外の自然を生かした公園にも出沒しています。

さて、7月の枇杷の会のお知らせです。王子駅～飛鳥山公園と名主の滝公園を吟行します。お時間のある方は、事前に飛鳥山公園内の博物館に寄られたら如何でしょうか。

**集合日時 7月17日(土) 12時**

**集合場所 JR京浜東北線王子駅北口(赤羽・大宮方面先頭)**  
**会費 2千円(初心者・見学者は無料)**

自然を好きな方はもちろん、普段忙しい方、新鮮な感動を得たい方、打ち上げの一杯を味わいたい方々等に、おススメです。多数のご参加をお待ちしております。

同期の方も是非お誘い下さい。初心者の方々は、最初は見学のみで結構です。歳時記はこちらで用意します。

ご参加いただける方は、事前に志木会事務局の竹内様まで。

E-mail : info@keio-shikikai.jp TEL : 048-471-1959



## 志木高・志木会行事日程

	慶應志木会		志木高等学校	
	22年度予定	21年度実績	22年度予定	
4月	4/24 枇杷の会 野川公園		4/6 4/15	入学式 定期健康診断
5月	5/15 志木高自然観察会 5/18 幹事総会	5/16 志木高自然観察会 5/21 幹事総会	5/6・7 5/17～/19	クラスマッチ 1年総合学習研修旅行(箱根)
6月	6/5 JKカップ 会報発行	会報発行 6/28 枇杷の会(明治神宮御苑)	6/21～/25	第1回 定期試験
7月	7/17 枇杷の会 (王子駅～飛鳥山公園～滝公園)	7/4 JKカップ	7/16 7/20～	第108回志木演説会 夏季休業
8月				
9月	9/18 志木高自然観察会	9/19 志木高自然観察会	～9/3	夏季休業
10月	10/2 歩こう会 (港区東部の史跡巡り) 10/30 ホームカミングデー (35期&10期)	10/3 枇杷の会三鷹から高円寺 10/31(土)・11/1(日) 収穫祭 10/31 ホームカミングデー (34期&9期)	9/29 10/12～15 10/11～15 10/30・31	運動会 2年研修旅行(南三陸) 3年見学旅行(九州) 収穫祭 学校説明会
11月	11/13 テニス大会(志木高) 枇杷の会	11/21 テニス大会(志木高)	11/15～19	第2回 定期試験
12月			12/17 12/20～1/6	マラソン大会 第109回志木演説会 冬季休業
1月		1/30 枇杷の会 増上寺から麻布十番		自己推薦入試 第3回 定期試験(3年)
2月	幹事新年会 枇杷の会	2/26 幹事新年会		一般・帰国入試 第3回定期試験(1・2年)
3月	3/24(木) 卒業式 卒業40周年(21期)	3/24(水) 卒業式 卒業40周年(20期)	3/24	卒業式 10:00

\*志木高校内自然観察会は宮橋教諭(理科)を中心に近隣者を対象に開催されます(卒業生10名様受付)

## 「慶應志木会賞」

慶應志木会賞は、クラブおよびその他の活動において、特に功績のあった団体または個人の業績を称え、もって学校生活の向上に資することを目的として平成19年3月の卒業式に初めて贈呈しました。体育、文化、一般の3部門において教員からの推薦をもとに選考委員会で決定しています。本年度で4回目を迎えました。

本年度は、端艇部、ワグネル・ソサイエティー男声合唱団の2グループが受賞され、3月24日の卒業式のあとの「志木会セレモニー」で鹿野会長から賞状楯と記念品が渡されました。



1. 端艇部 3年生10名、2年生3名（2年連続）  
 戦績 平成21年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会 兼 第57回全国高等学校選手権競漕大会（インターハイ）  
 男子舵手付クォドルブル 埼玉県代表 第6位入賞  
 第64回国民体育大会関東ブロック大会 第2位入賞  
 第64回国民体育大会（新潟国体） 関東地区代表  
 代表選手以外にも出場選手のサポートなどに特に貢献した
2. ワグネル・ソサイエティー男声合唱団 3年生5名、2年生6名、1年生9名  
 埼玉県合唱コンクール 高等学校の部 銅賞受賞  
 埼玉県ヴォーカルアンサンブルコンテスト高等学校の部 金賞受賞  
 そのあとの優秀団体演奏会に出演

本年、卒業された佐々木大樹君は一昨年、全日本カート選手権優勝など功績により、1年生のときに志木会賞を受賞しました。その後も活躍を続け、平成21年には世界選手権で7位に入賞し、現在も若手育成ドライバーとしてF3につながるカテゴリーに参戦して活躍しています。今年度の表彰ではありませんが、セレモニーで紹介されました。

## 體育部會NOW | 第10回

端艇部 部長 池田 卓也

端艇部は、現在創部51年目。3年生1名、2年生11名に、新たに1年生9名を迎え、計21名で戸田ボートコース（戸田市）を中心に活動しております。

普段志木から離れた場所で活動していることが多いこともあって、残念ながら校内ではあまり目立ちませんが、桜井雄太氏（36期）・黒田大介氏（45期）をはじめとするコーチ陣の熱心なご指導のもと、また穂刈靖夫会長（12期）・大津直之理事長（28期）をはじめとする志水会（OB会）の皆様のご協力のもと、部員全員が初心者から出発し、4月の慶早レガッタ（於・隅田川）での勝利はもちろんのこと、夏のインターハイ出場を目指して日々黙々と努力を重ねていることは、この際、声を大にして志水会の皆様にも、また全校の生徒諸君にもお伝えしたいと思います。事実、2年連続で慶應志木会賞を頂くきっかけともなりました、昨年8月に琵琶湖で行われたインターハイでの6位入賞や9月の新潟国体出場、3月の天竜川での全国選抜大会10位入賞など、最近の本校を代表する活躍ぶりは、そのことを端的に示しているといえましょう。さらには過去の全国優勝（昭58）も考えますと、それらの戦績を上回することは容易ではありませんが、現役部員諸君にとってはこの上ない大きな目標です。ボートは特にストイックさを伴う競技ですから、時にはやる気を失いかけたり、クルー内で衝突したりすることもあります。そうした困難を乗り越え、部員諸君が一丸となって心身ともに一回りも二回りも成長を遂げてくれることを期待しております。

志水会の皆様におかれましては、引き続き温かいご声援を賜りますようお願い申し上げます（戸田や隅田川にも是非お越し下さい！）。

## 文化部会NOW | 第10回

ワグネル・ソサイエティー男声合唱団 部長 吉川 誠二

志木高ワグネル・ソサイエティー男声合唱団は、現在1年生12名、2年生9名、3年生6名、計27名で活動しています。昨年度は志木会賞という大変な栄誉をいただきまして、団員一同驚きと共に、大きな励みになりました。心より御礼申し上げます。

活動は、定期演奏会と合唱コンクールを大きな2本の柱として、火、水、金、土と木曜の昼休みに練習しています。目標は、ただ上手に歌えることを目指すのではなく、聴いて下さるお客様の心に何か良い種を残せるような歌を歌うことです。そしてそれを実現しようと努力する過程の中で、一人一人が人間として成長していくことを大事にしたいと思っています。

この5月でワグネルを名乗らせていただいてちょうど1年半が過ぎました。それ以前、サークルとして「Going Bananas」という名前で活動していました。卒業していった先輩達が、合唱なんてダサイという風潮の中、苦しい思いや悔しい思いをしながら、でも歌が好きで、何度も消滅しそうになりながらも頑張ってきてくれました。その苦労の上に、現在の活動があることを私も団員達も忘れてはならないと思っています。

今年度は8月のコンクールで超難曲に挑戦します。3年生たちが大好きな曲で、今の彼らのレベルではかなり難しいのですが、無理なことにも果敢に挑むのが高校生の部活動とも思います。彼らの挑戦をお見守りいただけましたら幸いです。

## ●●● クラブ成績 ●●●

クラブ	成績
★体育部会	
硬式野球部	H21 夏選手権大会 2回戦 対藤 5-6 (12回) H21 秋地区予選1回戦 対大宮東 0-1 (10回) H22 春地区予選1回戦 対和光 3-2 代表決定戦 対西武台 0-3
競走部	60回全国高校駅伝競走大会埼玉県大会 2時間23分10秒 県21位 77回埼玉県駅伝競走大会 2時間16分05秒 県15位
卓球部	新人大会 西部地区大会 男子団体 2回戦敗退 関東大会兼インターハイ予選 西部地区大会 男子団体 2回戦敗退
蹴球部	新人戦 県大会 4位 関東大会予選 4位 関東大会出場 全国大会予選 ベスト4
庭球部	H21 関東高校テニス埼玉県予選 (個人) シングルス 3回戦 高取 2回戦 澤木・廣川 1回戦 國井・程塚・水野・山名 ベスト32 高取 ダブルス 3回戦 廣川・澤木 根岸・高取 1回戦 大段・森田 程塚・山名 ベスト16 根岸・高取 ベスト8 廣川・澤木 (団体) 1回戦 対和光国際 3-0 2回戦対浦和北 2-0 3回戦対春日部 2-0 4回戦対浦和学院 0-2 5~8位決定戦対立教 0-2 7・8位決定戦対西部台 0-2→8位 インターハイ団体予選大会 1回戦対秀明英光 0-3 H21 テニス新人戦 埼玉県大会 (個人) シングルス ベスト4 高取 2回戦 高木 1回戦 杉崎 ダブルス 1回戦 高取・高木 橋本大・大竹 団体 1回戦対県立川越 4-1 2回戦 対開智一貫 5-0 3回戦 対城西川越 2-3 ベスト16
端艇部	全国高等学校選抜ボート大会 舵手付きクオドルプル 全国10位 お花見レガッタ 舵手付きクオドルプル 1位 慶早レガッタ 高校舵手付きクオドルプル 優勝 関東予選 舵手付きクオドルプル 2位 ダブルスカル 3位 シングルスカル 6位 関東大会出場 インターハイ県予選会 舵手付きクオドルプル 優勝 ダブルスカル 4位 シングルスカル 5位 国体関東ブロック大会 舵手付きクオドルプル 2位 国体出場 インターハイ舵手付きクオドルプル 全国6位 新人戦 舵手付きクオドルプル 4位
柔道部	H21 春季西部地区高校柔道大会 個人 福島81kg級 準優勝 H21 関東高等学校柔道大会埼玉県予選会 団体 2回戦敗退 H21 秋季西部地区高校柔道大会 個人 福島81kg級 準優勝 城崎73kg級 ベスト8 H21 高等学校 慶早対抗柔道戦勝利 (9-2) H22 春季西部地区高校柔道大会 個人 福島81kg級 準優勝
バレーボール部	H22 西部地区大会 志木対狭山工業 (2-0) 志木対西部文理 (0-2) 代表決定戦 志木対川越西 (1-2) 志木対埼玉平成 (0-2)
ホッケー部	インターハイ兼関東大会 埼玉県1次予選会 3位 同 2次予選会 3位 高校ホッケー新人大会兼団体予選会 3位 第23回東日本ホッケー大会 SPRING TROPHY 4位
サッカー部	新人戦 西部支部 7位 関東大会 予選 県ベスト32
バスケットボール部	H21 関東大会予選県ベスト8 H22 新人戦 県大会出場
弓術部	H21 対早稲田大学高等学院 定期戦 勝利 (118-111) 埼玉県武道大会 (個人) 村田 準優勝 西部地区高等学校弓道春季大会 (個人) 田中 9位 H22 对本塾女子高等学校 定期戦 勝利 (82-75) 関東大会県予選 団体 6位
ゴルフ部	H21 関東高等学校ゴルフ選手権大会 (団体・個人戦) 埼玉県大会 出場 埼玉県高等学校ゴルフ選手権秋季大会 関東大会・全国大会予選 出場 埼玉県高等学校ゴルフ連盟主催 研修競技会 出場 慶早戦 出場
剣道部	H21 第52回5大学附属剣道大会 第5位 (12校中) 浦和高校 定期戦 (塾高合同チーム) 12-13 (敗) 西部地区新人大会 準々決勝 敗退 県新人大会 2回戦 敗退 H22 関東大会 西部地区予選 準々決勝敗退 (県大会出場権獲得) 関東大会県予選 3回戦敗退
スキー部	インターハイ県予選 篠田春樹 GS23位 SL23位 SAJB級 関東高等学校 スキー大会 篠田春樹 SL110位 GS DF (2nd)
ソフトテニス部	西部支部大会 二部 個人 準優勝 六大学大会 個人ベスト16
水泳部	私学大会 200mリレー (山口・脇本・小野・森) 7位 200mメドレーリレー (脇本・井上・山口・森) 8位 スプリント大会 200mリレー (山口・山本・小野・脇本) 20位 200mメドレーリレー (脇本・井上・山口・小野) 22位 団体予選 200mメドレーリレー (クラウス・井上・脇本・山口) 18位 新人大会 100m背泳ぎ クラウス16位 200m背泳ぎ クラウス13位 森内20位 200m平泳ぎ 濱田19位 200m個人メドレー 中井17位 200mリレー (井上・脇本・小野・山本) 12位 400mメドレーリレー (クラウス・井上・神原・小野) 17位
軟式野球部	第54回全国高等学校軟式野球選手権 埼玉大会 準優勝
空手同好会	関東大会 埼玉県予選会 出場 インターハイ埼玉県予選会 出場 埼玉県新人大会 出場 春季港区空手道大会 出場
★文化部会	
囲碁将棋部	H22 全国高等学校将棋選手権 埼玉県大会西部地区予選会 出場 埼玉県高等学校文化連盟 囲碁新人大会 出場

## —— 会費納入のお願い ——

慶應志木会 会長 鹿野 元章

慶應志木会の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、平成20年4月より第5期がスタートし、今後の活動と発展のために会費納入のお願いをしておりますが、平成22年4月末現在、2年間で納入率10パーセントと極めて低調な状況となっております。

志木会費は発足時より5年毎に年会費2千円×5年分＝1万円をお願いしております。

厳しい経済情勢ではありますが、このままでは慶應志木会の運営に大きな支障がでることが予想されますので、何卒ご協力賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

会費未納の方には振込用紙のついた宛名用紙でお送りさせていただいております。この振込用紙をご使用の上、お近くの郵便局よりご送金下さいますようお願い申し上げます。また、下記の口座を指定いただければ銀行からも振込みが出来ます。

なお、すでに納入いただいている方には振込用紙は付いておりません。

(納入状況につきましては平成22年4月末日のデータを基にしております。行き違いの際にはご容赦下さい。)

### 記

振込金額 10,000円 (平成20年～24年の5年分)

取扱機関 郵便局 (同封の振込用紙を使用した場合)

口座記号・番号 東京 00170-6-537748

口座名義 慶應志木会 (ケイオウシキカイ)

銀行から振り込む場合

銀行名 ゆうちょ銀行 支店名 〇一九支店

口座種別 当座 口座番号 0537748

口座名義 慶應志木会 (ケイオウシキカイ)

払込期日 早期振込にご協力下さい

<問合せ先> 志木会事務局 TEL048-471-1959 (志木高内)

E-mail info@keio-shikikai.jp

### <参考資料>

#### 残高推移予想

(単位千円)

	H22	H23	H24	H25
現在残高	13,379	総会準備年	総会開催	次会費徴収
残高		7,779	1,479	
必要金額	5,600	6,300	6,300	
差引	7,779	1,479	▲4,821	

※会費の納入が無いとH24年以降、会の活動が出来なくなる。

#### 必要金額の主なもの (単位千円)

・会報費用	2,500
・寄付金 (収穫祭・卒業式)	600
・入学・卒業記念品	500
・会議・事務費用	1,000
・その他	1,000

H23、24は総会準備のための支出有

# 同期会 &OB会だより

11期 遊志会

11期（遊志会）は、平成21年度も①鎌倉散策の会（6月24日）、②ハワイアン&フラの夕べ（8月1日）、③第77回ゴルフ会（10月2日）、④高尾山秋の健康ハイク（11月4日）、⑤第5回ミュージックフェスティバル（3月6日）、⑥第78回ゴルフ大会（3月30日）、⑦平成21年度総会（4月8日）の各イベントを開催しました。特に、「ハワイアン&フラの夕べ」では、遊志会始めて以来の最多入場者（89名）という大盛況で、一同はハワイアンとフラの名演（迷演？）に見惚れ、楽しい暑気払いとなりました。また、4月8日に開催した「平成21年度総会」（写真参照）では、恩師の高山元教諭・斎藤元教諭をお迎えし、出席者がお互いに旧交を温めるなど和やかな雰囲気となりました。

平成22年度も新幹事のもと、ゴルフ会、ミュージックフェスティバル等の恒例イベントに加え、築地市場や東京スカイツリーの見学など、趣向を凝らしたイベントを開催のうえ、会員相互の親睦をさらに深めていきたいと思っております。

11期 馬淵祥宏



13期 志木会を支えるのは同期会……

志木会メールマガジンをご覧の諸兄はお気づきの方もいらっしゃると思いますが、13期は毎月同期会を開催しています。20年近く前から続いています。

塾から、大学卒業25年記念として卒業式にご招待を受けます。その御礼に卒年三田会は寄付をする慣例

があります。この寄付集めにあらゆる組織を生かします。その一つが志木の同期会でした。高校を卒業して25年以上経っていますから非常に懐かしく、予想以上に大勢集まりました。会場は現在も利用している六本木の『貴奈』（同期の店）です。何時から月例に成ったのか記憶は定かではありませんが、誰ともなく、もっと頻繁に会いたいね！との声から、『四木会』は誕生したのです。毎月第四木曜と決めて 四木会（しき→よんもく）と命名し完全に定着致しました。現在は毎月15名以上が出席し、逝った仲間の代わりに奥さんが、又、地方や海外に住んでいる人も日程を調整して顔を出すようになりました。

志木高でも卒業40年日にご招待があります。13期は地方からも大勢みえて60数名が出席しました。還暦記念には、伊豆大仁の塾月ヶ瀬リハビリセンターの見学旅行を、また今年は65歳記念としてドイツ・フランスに在住している仲間の処へ訪問する旅行を計画しました。多分、この会報が発刊される6月には出立していると思います。

同期会あつての志木会と思います。若い期の皆様には是非同期会を上手に育て付き合いの輪を広げて頂きたいと祈念するしだいです。

\*写真は昨年最も多く集まった12月「定例四木会」の写真。

13期 千葉宗雄



15期 第31回「亦楽会」は盛会

当時の雨宮正夫校長から「朋有り遠方より来る、亦楽しからずや」のフレーズより命名いただいた「亦楽会」は会を重ねて31回目であった。11月27日、三田山上ファカルティクラブは燃える熱気に包まれ日本全国各地より参集した同期同士が肩を抱き合い再会の喜びに浸った。

応援指導部有馬君の振りにて塾歌を斉唱、基本通り開宴、杉村君進行のもと楽しく歓談、今回は同時入学（都合にて遅れ卒業）の友も加わり、またミュージシ

ヤン、瀬戸龍介君の飛び入りソロソング、そして応援指導部リードの応援歌の数々、肩を組み声高らかに大いに盛り上がる、極め付きは風邪をおしてのご来席、大館恩師の元気なメの「若き血」であった。瞬く間の3時間、記念撮影いたし、余韻を残して至福の会は散会であった、慶應義塾に学んだ恩恵、数々あれど、こうして43年振りに集うても、肩くみ、いつも青春これが嬉しい、まこと塾に感謝である。

末筆ながら志木会竹内様そしてファカルティクラブには様々ご協力を賜り感謝を申し上げる。

当日出席者

師：大館・齊藤顕・松井・新保、生徒はA組：加藤・大川・神出・岩倉譲・野間口・吉原・半田・鹿島・平野井・増崎・高原・福島・森屋・田中、B組：石川・木村晴・萩田・中村健・野田・水町・小野・齊藤大・長野・五戸・川上、C組：小林・宮倉・奥村・渡辺健・龍田・中川・瀬戸・深瀬・武井・工藤・中野、D組：杉村・草野・大関・大平・村部・鈴木幸・元田・岩倉具・高木・大塚・浜田・木村庸・伊藤潔・内海・須藤、E組：高野・足立・桜井・川村・松本・倉田・辻・山田健・伊東、安田・織田・三原

応援指導部主将有馬岳他1名、総勢69名

31回幹事は加藤・石川・小林・杉村・高野、また次回32回幹事は大平・水町・大川・河村・奥村

15期 杉村恵二



16期 志世会

平成21年度の定期志世会は9月12日(土)に万世本店で開催され、30余名の同期生がお互いに旧交を温め、和やかに歓談しました。また出席者の中には定年を迎え、遠方での勤務を終え久々に懐かしい顔を見せてくれた方々が増えてきております。尚、今年度の志世会は9月11日(土)に開催ですので、皆さん予定表に記入願います。(2月第2土曜日が定例開催日です。)

昨年3月よりスタートした月例懇親会(毎月第4木曜日18時 万世本店地下1F「呉越同舟」にて開催の飲み会)には、毎回6～12名程度の出席者があり、

行事として定着しました。この会合に予定を合わせて、10月には須釜一夫君(シンガポール在住)、2月には吉田進君(パリ在住 作曲家)が帰国、地方からも出張を兼ねて参加するというケースも見られ大いに盛り上がりました。飛入り参加大歓迎ですので、皆さん気軽に寄り道をして飲みにお越し下さい。

この3月6日(土)に第3回志世会ゴルフコンペが18名の参加を得てアスレチックゴルフ倶楽部で開催されました。あいにく午後の中盤以降はかなりの雨となりましたが何とか全員ホールアウトでき、優勝は伊藤英二君となりました。パーティは皆さん、悪天候の中の大叩きを肴に大いに盛り上がりました。次回第4回コンペは9月10日(金)で、幹事は野溝孝信君です。

同期諸氏、今年も極力日程調整して、それぞれの行事でお互い元気な顔を見せようではありませんか。

16期 近藤隆夫

18期 同期会開催報告

1968年卒業の18期生は卒業後(多分、同窓会を除いて)4回目の同期会を去る3月27日の土曜日、三田のファカルティクラブで開催する事ができました。

一昨年、第58期生の卒業式に卒業後40周年を記念してお招き戴いた折に、急遽第3回同期会を志木駅南側のベルセゾンで開催して以来、丸二年ぶりの同期会でした。

同期会当日はその後の天候不順とは大きく違って、4月中旬を思わせる好天と暖かな日差しに恵まれた初夏の先駆けを思わせるような日和でした。

官製はがきで同期会の案内を発送し、事前振込みにて参加人数を確認いたしまして当日の参加予定者は40人でした。

ところが、蓋を開けてみると、当日参加が割高な会費にもかかわらず10人も参加し、総勢50人の盛大な同期会へととなりました。

少々残念だったのは、我々が3年生だった当時の担任で出席戴けたのが高山元教諭、お一人だった事です。

14:30の開始から16:30の終了まで、あちこちで昔話に花が咲き、クラス仲間、クラブ仲間の輪ができ、定年で現役を退いている同期生も増えている事から、今後の塾縁復活を誓い合う会話が漏れ聞こえて参りました。

久方振りに会う同期仲間の間では、顔と名前がなかなか一致せず、急造の名札を手書きして、セロテープで胸に貼り付けなければならない破目に陥り、次回開催時の課題が判明致しました。

会の途中では、整備途上とは言え、同期会名簿の配

布が決議され、会の終了後メール添付にてメールアドレス登録者に配布する事と、来年の同時期に第5回同期会を開催する事が決議されました。

最後に佐藤雅春君の応援指導で、「若き血」をみんなで肩を組んで斉唱し、盛会裏に終了いたしました。

また、当日“写真班”を買って出てくれた三村信二君に依り100枚に達する写真が撮影され、4月下旬にインターネットに5月末までの時限公開ですが、フォトアルバムが作成・公開されました。

そのURLを周知させる為に、同君の尽力で同期会不参加者を中心とする同期生諸君のメールアドレス調査が進行し、登録者が大巾に増えました。

来年以降の同期会開催の連絡等々に大活躍する事になるだろう事は間違いありません。

18期 伊藤博行



23期 志木魔会

我々23期生は2013年に卒業40周年を迎え母校の卒業式に招待される予定です。そこで、同期会である志木魔会はこの機会に同期会名簿の整備をしたいと思っています。前回、同窓会全体で名簿を作成して早8年が過ぎ、修正が必要と感じたからです。変更のあった会員はもとより、変更事項の無い会員もこの機会に名簿再編にご協力をお願いします。

尚、友人の情報をご存知の場合、本人に協力を依頼するか、事務局（竹内さん）に連絡してください、同窓会として公式に情報収集をさせていただきます。

メールで情報収集にご協力頂ける方は、志木会事務局宛てにメールを送って名簿情報連絡用帳票を受取り、必要事項を記入の上事務局に返信して下さい。普段メールリングリストで情報の遣り取りをしている方には私A組中村が帳票を添付して発信させていただきます。メールリングリストに携帯アドレスで登録されている方は添付が開けないと思いますので お手数ですが事務局に連絡をして郵送又はFAXの手順を踏んでください。

郵送又はFAXでご協力頂ける方は、事務局に電話又はFAX等で連絡をし帳票を入手し、返送して下さい。

いずれの場合も情報管理の都合上、返信先は事務局宛てです。ご協力をお願い致します。

※編集部註：事務局の各種宛先は奥付をご参照下さい。

23期 中村弘司

26期

26期は2010年1月22日(金)同期清水君(ブッチャー)が経営する「青山ティーファクトリー」にて同期会を端艇部OB石崎君、今井君、後藤君、八木君らを幹事役として敢行し、盛会でありました。

次回は同じく「青山ティーファクトリー」(TEL03-3408-8939)にて競争部OB山田(和)君、上野君、米持君らが幹事役となり、7月9日(金)午後7時から行いますので同期の皆様奮ってご参加下さい。

またこの4月同期の善木達明君(三越)がアメリカ、オーランドへ、中川龍士君(三菱商事)がエジプト、カイロにヘッドとして栄転赴任されました。

あと26期は現在本年の連合三田会大会の幹事年として大会の総務本部長として山崎君、経理部会長として澤田君、記念品部会長として善木君(海外転勤のため田中君が代理)、接待部会長として山田(純)が役員の任命を受けているほか、多くの同期が実行委員に名を連ねて大会(10月24日)に向け活動しております。

まだ実行委員への登録をお済ませになっておられない方は2010年慶應連合三田会大会のウェブサイト(<http://www.2010mitakai.jp/>)から実行委員登録をお願いできればと思います。

26期 山田純男

28期 同期会報告

幹事・伊能重雄氏のご尽力により、2010/5/7 19:00～銀座BRBにて28期同期会が開催されました。

当日はあいにくの天候でしたが、出席予定者47名全員の出席で盛会となり卒業以来32年ぶりに再会する同期生も多く、大変有意義な会になりました。

今回ご出席頂いた方々、また、残念ながらお会いできなかった方々も、次回の同期会でお会いできます事を楽しみにしております。

今後のお知らせの為に是非志木会メールマガジンの配信登録をお願い致します。

また。連絡用のメールアドレス、近況等、お知らせ下さい。

【info@keio-shikikai.jp 28期宛】

28期 大館 信

慶應義塾志木高等学校第28期同期会出席者

◎日時：2010年5月7日（金）19：00から

◎場所：GINZA BRB (順不同)

A組	B組	C組	D組	E組	F組
山崎正実	大館 信	熊田充男	佐々木公明	菊池仁志	内木哲也
金子正秀	うまのり 浮葉 亨	坪倉 隆	石神秀史	大野太郎	徳武大介
佐藤寿哉	斎藤博文	秋田和之	池田欽哉	井口忠寿	有澤淑人
望月 一	おおかわら 大河原秀一郎	加藤幸輔	武井良仁	橋詰 豪	中村 修
伊能重雄	中嶋 均	吉田 敬	永嶋俊哉	こうたり 神足勝彦	宮澤哲郎
岡田英嗣		齊藤 聡	石井栄一	並河大介	大津直之
福田雄彦		堀部剛正	南波 巖		浅見俊宏
松浦 裕		大津修二			よこやまあきひろ 横山明弘
須賀啓樹					長山 潤
三好大介					大前博昭
					柴田 隆
10	5	8	7	6	11
47					



体育会ホッケー部創部50周年記念総会

志木高校ホッケー部は今年創部50年を迎え、盛大にお祝いの総会を3月7日吉日に京橋明治屋にて挙行了しました。

1961年、(昭和36年)体育会ホッケー部として発足、当時校長をお勤めでありました吉田啓一元校長、齊藤顕頭部長、東初代監督、また大学・三田ホッケークラブのご支援により部員も徐々に増え、インターハイへの出場、出ると敗戦ではありましたが、和気あいあいの風潮、まことに楽しい体育会ホッケー部として現在まで成長してまいりました。ここに、共に皆様「同じ釜の飯」を喰った、OB・現役そして初代監督、歴代部長、そして三田ホッケークラブ会長他多数の方々の(130名)ご出席のもとお祝い出来たことは全員の喜びでありました。

今総会を機にOB全員、思い出多き志木高校ホッケー部へささやかではあるけれど持続性のある支援を行う機運も盛り上がり、次の半世紀に向けて力強い一歩を踏み出すことを確信し部歌「城南の丘べ」を斉唱、手造り記念誌を手に散会となりました。

※なほ、この場を借りましてOBの方々と連絡先等未登録の方は志木会事務局気付、幹事の宮澤哲郎までお知らせくださいませ

info@keio-shikikai.jp

当日出席者

来賓：大久保栄一・宮崎倫彰・井澤智浩・長谷川泰史・栗生賢一郎・早川宗助・齊藤顕・後藤邦吉・山崎勇

OBおよび現役：木佐・黒崎・柴田・竹本・福井・大戸・藤井・杉村・渡辺健・伊藤・小柴・沼田・松谷・御手洗・安達・久保田・重元・田口・富塚・岩元・加島・二島・藤本・亀井・川崎・佐原・舟本・本条・小島・藤田・村上・飯田・福田・箕島・脇田・坂戸・岩元・松原・坂上・大久保・齊藤芳・戸張・松本・木村・林・山縣・石田・田野口・小山田・小池・善木・中島・宮坂・大森・山野辺・昆・横川・阿賀・落合・宮澤・小久保・菅野・豊田・竹内・大木・長谷川・阿部利・大坪・石田亮・樋口・神山・渋谷・峰松・高津・北田・田所・近藤・宮川・中出・田中翼・岩佐・岩井・渡部・田中類・沖・小林幸・藤沢・山成・加藤雄・神谷・藤井・吉田朋・増本・森本・松室  
他現役大勢 総勢130名

15期 杉村恵二



應志会（応援指導部OB会）総会開催のご報告

去る5月8日(土) 17時より、帝国ホテル三田倶楽部に於いて應志会総会を開催、当日は来賓として塩澤修平前経済学部長(24期)、志木倶楽部(野球部OB会)から椎野開八郎会長、そして多数のOBが出席、盛大に行う事が出来ました。

慶應義塾志木高等学校応援指導部OB会が「應志会」(おうしかい)と命名され、今回で5回目の開催となりました。

塩澤教授の『遊び心と日本経済』遊び心に基づく有効需要増進—清貧ではなく清富の思想—と題した講話と、椎野会長からは野球部の活動報告があり、その後会場ではOBを交えての懇親が行われ、和やかな雰囲気の中にも熱気に包まれた、大変楽しい会になりました。

また、志木高から応援指導部が無くなって7年が経ち、応援指導部の復活に向けての熱意と情熱溢れる話題が会場を終始埋め尽くしていた事をご報告させていただきます。

出席者一同ますます親睦を深め、恒例の「若き血」に続いて最後は「慶應讃歌」で締めくくり、次回迄に応援指導部の復活が叶う事を願い(誓い)ながら散会しました。

應志会 会長 荒井 浩 (9期)



志木高校ソフトテニス部総会（龍志会）のお知らせ

今年の8月、志木高校ソフトテニス部(軟式テニス部)の顧問をされていた龍田元教諭が古希(70歳)を迎えられます。

これを祝して、5年ぶりに龍志会を開催することとなりました。

ついては、OBの方々、どうぞお誘いあわせの上、ご家族も一緒にご来場をお待ち申し上げます。

尚、これを機会にOB会名簿を整備中ですが、連絡先不明の方が少なくありません。47期(1997年3月

卒)以前のOBの方で、現時点で連絡されていない方は、「連絡先不明」となっている可能性がありますので、慶應志木会または学年幹事あるいは三澤まで連絡をお願いします。

追ってご案内状・ご案内メール・志木高マガジンにて改めてお知らせいたします。

記

日時 2010年9月4日(土) 13:00~

場所 東天紅上野本店

<http://www.totenko.co.jp/restaurant/ueno/info/>

会費 7,000円(夫婦10,000円、お子様(高校生以下)無しを予定)

龍志会準備会代表(23期三義、24期伊藤、26期三澤、37期石島) 26期 三澤一之

アルコールブレイク

「ほろ酔いの科学」

●なぜ酔うのか?

アルコールを摂取すると、胃で吸収され肝臓で最終的に水と炭酸ガスに分解されます。分解しきれないアルコールは血液中に入り、脳へ行き網様体を刺激し、酔いとなります。

アルコールが感知される脳の部分により

- 脳の表面に近い部分 → 新皮質抑制(本能が活性化)
- 表面部より少し内側 → 大脳辺縁系抑制(情動発露): 俗に言う「…上戸」
- 脳の中心部に近いところ → 小脳抑制(運動抑制): 「千鳥足」など

また、肝臓での分解が進まず、中間にできるアルデヒドがたまると悪酔いの原因となります。

●血中アルコール濃度と酔いの症状

血中アルコール濃度(%)	区分	症状	酒量
0.02 ~ 0.04	爽快期	気分さわやか。活発な気分。	日本酒(〜1合) ビール(大瓶〜1本) ウイスキー(S〜2杯)
0.05 ~ 0.10	ほろ酔い初期	ほろ酔い気分。脈拍、呼吸数上がる。話はなめらかに、抑制が外れる。	日本酒(1〜1.5合) ビール(大瓶1〜2本) ウイスキー(S2〜5杯)
0.11 ~ 0.15	ほろ酔い極期	気分が大きくなり、自己抑制が外れる。立ては少しふらつく。	日本酒(2〜3合) ビール(大瓶2〜3本) ウイスキー(S6〜8杯)
0.15 ~ 0.30	酔倒極期	運動障害が出現。まともに歩けない。千鳥足、呼吸促拍、嘔気、嘔吐。	日本酒(4〜5合) ビール(大瓶5〜7本) ウイスキー(S8〜10杯)
0.31 ~ 0.40	泥酔期	歩行困難。転倒すると起き上がれない。意識混濁、言語支離滅裂。	日本酒(7〜8合) ビール(大瓶8〜10本) ウイスキー(ボトル1本)
0.41 ~ 0.50	昏睡期	昏睡状態。尿管失禁。呼吸麻痺、死亡する危険大。	日本酒(1升〜) ビール(大瓶10本〜) ウイスキー(ボトル1本〜)

血中アルコール濃度(%) = 飲酒量(mL) × アルコール濃度(%) / (833 × 体重(kg))  
⇒ 体重60kgの人の場合 日本酒1合で 約0.063%

★上手に酔うには「ほろ酔い状態」(血中アルコール濃度約0.1%)を維持します。

●適量飲酒は長生きをもたらします。

麻酔作用、体熱放散、食欲増進、血流増加などの効用があり、ストレスの発散にもなります。

特に日本酒は100種類以上の体によい成分が含まれています。

「体にいいからといって飲みすぎでは何にもなりません!!」  
適量を守っておいしい日本酒を飲みましょう!!

## 収穫祭のお知らせ

皆さんこんにちは!! はじめまして。平成22年度、第63回収穫祭の実行委員長の松野泰佑です。今年の収穫祭のテーマは「…boring?? BE POPPIN!!」です。

POPPINはPOPをアレンジした造語で、このテーマは直訳すると「…つまらない?? だったらポップになろうぜ!!」つまるところ、誰も退屈しない、みんながポップになれる最高に楽しい収穫祭という意味になります。

テーマ決めの際、実行委員からは、ポップな収穫祭、一体感のある収穫祭、どのお客様も楽しめる収穫祭、など50近くの理想の収穫祭があげられました。

そしてその中から決まったのがこの「…boring?? BE POPPIN!!!」です。

見た目以上に味があり、深いテーマです。

今年の収穫祭は特に新しいことを始めるつもりはありません。僕たちは今までのすばらしい収穫祭の伝統を受け継いで、見習うところは見習い、改善できるところは改善していくというスタイルでやっていくつもりだからです。そしてその中で今までとは違った新しいものが生まれることを期待しています。

今年の収穫祭のスタッフは史上最高のメンバーだと自負しております。このようなスタッフたちと全校生徒でつくる最高にポップな収穫祭を、ぜひ楽しみにしててください!! 皆さんが収穫祭に来てくださった際には絶対にごっかりさせません!! 今年の収穫祭の応援よろしくお願いします!!

.....

今年の収穫祭は、10月30日(土)・31日(日)に実施されます。

詳しくは志木高等学校ウェブサイトか、志木会メールマガジンを御覧下さい。

## ホームカミングデーのお知らせ

卒業25年の方々を収穫祭にお招きして、ホームカミングと称して懇談会を行っております。昨年からは卒業50年の方々も対象になりました。下記の要領で開催いたしますので奮ってご参加下さい。

日 時 平成22年10月30日 12時から

場 所 志木高管理棟3階会議室

対象期 35期&10期

### ◇ホームカミングデーによせて◇

子供の世代が学校生活を謳歌し始め、未来に向けて羽ばたこうとしている姿を見ていると、自分達の高校時代を思い出します。

コドモとオトナの狭間にあって大志を抱き、志木高の恵まれた環境の中で自分自身の将来や夢を思い、青春を謳歌したことが懐かしく感じられます。

卒業から25年にあたる今年、ふと足元を眺めれば年齢を重ねながら歩んできた人生の起点が志木高での日々であったと感じずにはられません。

私たち35期は、今秋の収穫祭の「ホームカミングデー」に向けて一昨年からの同期会の活動を始めています。あの頃思い描いた未来像とはかなり違っている人もその通りになった人もいますが、ときどき集まっては昔話に花を咲かせています。

まだコンタクトが取れていない仲間もいますが、今年の「ホームカミングデー」では一人でも多くの同期生が母校に集えることを願っています。

(同期会のウェブサイトへは「慶應志木35期会」で検索してください。)

35期会 事務局 宇野・大澤・越知

# ことばと文化を学ぶ

慶應義塾志木高等学校教諭 中地讓治・鈴木千花



慶應義塾志木高等学校の看板ともなっている「語学課外講座」がスタートしたのは、1991年の4月です。「一つのクラスで十数ヵ国語がとびかうのもおもしろいではないですか」という当時の鐵野校長の提案が事の発端でした。総務委員会に提出された原案には、15～18歳という年齢は新たな外国語にふれるのに好適な時期であること、系列の大学に全生徒の進学が保証されているのだから、高校段階で学習したものを大学でさらに高度に発展させることこそ一貫教育の効用を高めることになると書かれていました。

生徒に受講希望を聞いたアンケート用紙に記載された言語の数は19種類<sup>★注1</sup>。あまり学ぶ機会のないアジア、中東、アフリカの言語を中心にした背景には、日本が立脚しているこれらの国・地域への理解を深めなければ日本の真の国際化は図れないという考えがありました。19講座が全部成立するかどうか心配しましたが、すべての講座に「聴講したい」という該当者がいました。その後、1994年から語学課外講座は「課外の科目」と形を変え、言語の数もそれまで選択科目としていたドイツ語とフランス語が加わり21言語となりました。

## ことばの学習からことばと文化の学びへ

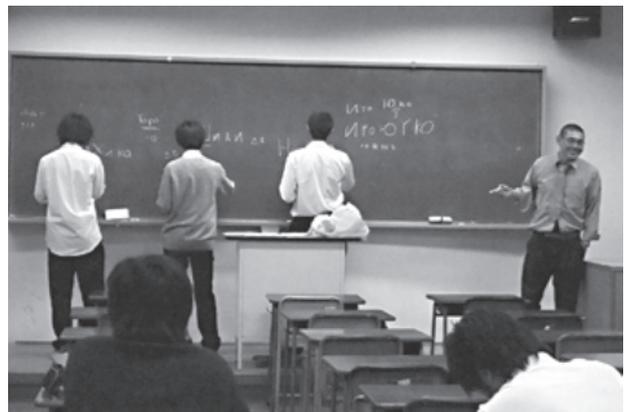
講座の開始以来、講座の内容はいわゆる語学学習が中心で、複数の外国語を開講している語学学校の出前授業という感もありましたが、その状況に大きな変化があったのは1998年でした。「総合的な学習の時間」の導入にあわせて、学校内でさまざまな議論をした結果、2年生の必修科目として「ことばと文化」を設置することになりました<sup>★注2</sup>。一つの講座の授業期間は半期。生徒は前期と後期に1講座ずつ選択し履修します。講座の目標をその言語の運用能力の習得ではなく、語学学習を通じて、歴史、文化、風土などに広くふれることにおきました。それに伴い、「アラビア語の世界」「ヴェトナムへのいざない」「ハンムラビ法典を読む」「ビルマの人びとのくらし」などに名称が変わったものもあります。

半期という短い時間では、学習内容も限られますが、新しいものに多くふれることができるという点で、生徒にとって刺激となっているようです。長く古典ラテン語を担当している教員も「ラテン語を通じて古代の世界を現代の世界に置き換えて考えたり、ヨーロッパの歴史の深さにふれたりすることで、生徒の学習の質が高まった」ととらえています。

国際化というと日本文化と外国文化を対比しがち



古典ラテン語の授業。歴史や政治などにもひきつけた話がおもしろい。



モンゴル語の授業。馴染みの少ないキリル文字にふれる。

ですが、日本にも多様な固有文化が併存しているという視点も必要であると考え、2005年から「アイヌ文化に触れる」という講座を加えました。当時3年生の修学旅行先が北海道であり、アイヌ文化を研究していた本校の教員の力を授業に生かすという試みでもありました。また、沖縄のことばを学ぶ講座「うちなーぐち やんどー」も誕生し、今では23の講座を開講しています。

**共生に向けての学び**

今、英語が世界の共通語とされている傾向がみられます。しかし、国際化のなかで一番大事な「共生」ということを考えれば、一つひとつの言語の存在を無視することはできません。それは、一人ひとりの生徒の個性を無視できないのと同じです。また、教育現場では、教えることだけに目が向き、育てること、育つことへの配慮が無視されているように思い

ます。今求められているのは、「教師」ではなく「育師」です。学ぶための環境をつくり、自然にいろいろなことにふれさせ、生徒自身が気づき育つことが大事なのではないでしょうか。本校の講座「ことばと文化」はそんな「共生」への学びにつながると信じています。

[なかち・じょうじ/すずき・ちか]

……中地先生は「ことばと文化」の前担当者。鈴木先生は現担当者。

★注1：朝鮮語、トルコ語、ベルシャ語、ビルマ語、モンゴル語、古典ギリシャ語、サンスクリット語、古典ラテン語、スペイン語、イタリア語、中国語、インドネシア語、ヴェトナム語、タイ語、アラビア語、ヘブライ語、ロシア語、スワヒリ語、ポルトガル語

★注2：語学として学習を深めたい生徒のために、金曜日の5、6限の「ことばと文化」の授業の後、7限に語学講座を開講し、希望者が受講できるようにしている。3年間同じ講座を継続して受講することもできるし、毎年別々の言語に挑戦することもできる。2009年度は14言語の講座を開講している。

**新しいことばとの出会いがくれたもの**

**新しい友だちと新しい価値観を得た**

高校時代に中国語と出会い、大学・大学院とずっと中国語を勉強している。学び始めたとき、気をつけて発音練習すると、その音が出せるようになった。そのことはとてもうれしかった。中国語は就職に有利だからという理由で学ぶ人も増えている。しかし、外国語を学ぶことはその国の文化に多くふれることができるということ、このことが一番の魅力なのだと思う。中国語を学んで得た最も大きなことは、身近にいる中国人とたくさん友だちになれたことだ。その友だちを通して、その国の価値観や考え方がわかり、日本や日本語を客観的に見る目をもつことができた。

[中国語を学んだMさん]

**ことばへの新しい視点を獲得**

高校時代に1年半古典ラテン語を学習した。先生はことばを接頭語や接尾語などに分解して、原義についていろいろと説明してくれた。ことばはどんどん変化するが、そのもともとの意味を知ることができてとても楽しかった。おかげで、ことばを分解してみる癖がついた。そのことで、英語の単語の意味が推測できるようになり、日本語についても新しい発見をすることができた。また、半年ではあったが、アイヌ語を学ぶことで、アイヌの人だけでなく、自分のことばを愛しく思う気持ちがよくわかるようになった。ことばや人間、国民、国家などを考えるときの問題意識の原点になったように思う。

[古典ラテン語とアイヌ語を学んだHさん]

**韓国語は私に自信を与えてくれた**

中学校3年間を不登校児として過ごし、自分自身に対して自信を失っていたときに韓国語と出会った。高校生活3年間、往復4時間の通学中、自分で作った単語帳をめくり、語彙が増えていくのを確認すると、萎縮していた心が少しずつほぐれていくのを感じた。そして、留学生と交流するようになり、韓国語に接する機会が増えた。留学生の話す韓国語がただの音から「ことば」として聞こえてきたときに、大きな喜びとやりがいを感じ、それが自分にも何かやりとおすことができるという自信につながっていった。

[韓国語を学んだKさん]

**自分を表現する新たな場を得た**

第二外国語の授業は私を表現できる最高の場所だ。なかなかスペイン語を使うチャンスがないところへ、学校にメキシコからの留学生がやってきた。おそるおそる使ってみた。そして伝わったときのうれしさ。これが新しい言語を学ぶうえでの最高の楽しみだと思う。世界とつながる幸福感を味わうことができた。

[スペイン語を学んだNさん]

**複数の言語の同時学習で相乗効果**

私が学んだドイツ語は英語と同じゲルマン系のことばだ。とはいえ英語と違って動詞の活用や冠詞の活用が多くて大変だったが、そこが醍醐味でもあった。自分で文法を学んだら、英語や独学で勉強しているアラビア語との共通点が見えてきた。複数の言語を同時に学習すると、どの言語も頭に入りやすくなるという相乗効果を実感した。

[ドイツ語を学んだKさん]

**頑張っって伝えようとする力がつく**

日常生活のなかで見かけるフランス語の意味がわかってきたのがとてもうれしい。たとえば、gâteau chocolatは英語のchocolate cakeだと知って驚いた。日本語以外の言語を学ぶことで自分の視野を広げ、新たな世界を開くことができる。完璧に話せなくても、頑張っって伝えようとするからコミュニケーション能力もあがる。もっと話せるようになれば、国外で活躍することができて世界の架け橋になれる。だから第二外国語を学ぶことは大切なことだ。

[フランス語を学んだKさん]

## 卒業40周年記念の卒業式参列記

20期 田中 純一

3月24日水曜日10時、我が志木高は雨に煙っていました。卒業40年を迎えたOBを現役の卒業式に招くという企画があることは知っていましたが、こんなに早くその機会が訪れるとは思いませんでした。

駅周辺の変わりようにまずは目を見張った40年ぶりの訪問者もいましたが、余りに昔のままの校舎に緊張感が溶けました。昔のまま……、我々は木造平屋を含む旧校舎で1年次を過ごし、2年生になった時に竣工した現在の校舎に移り住みました。我々と1期上の代が新旧両校舎を体験しているという志木高の歴史の中でも希有な世代。それだけに、築後40年を超す現在の校舎をつい「新」と呼び、消えて久しい木造校舎を懐かしんでしまうのです。キャンパスも入学時点で54,000坪、卒業時点で37,000坪、そして現在は32,500坪となり、景色もかなり変わってしまいました。

さて卒業式会場の体育館に入ってみると、卒業生は着席済みで、父兄も集合しつつありました。当たり前ではあるのですが、ご両親達の若いこと！ 下村校長も我々よりだいぶ年下です。感傷から現実に戻された瞬間でした。

卒業式は粛々と進みます。校長はひとりひとりにおめでとうと言いながら卒業証書を手渡します。見るからに賢くも個性豊かそうな250人からの若者への授与が終わったときにはずいぶん時間が経っていましたが、何とも言えない、感動的なひとときでした。同期参列者約40名には40周年記念証が交付され、木原君が代表してこれを校長からいただきました。

卒業式がひととおり終わると、そのまま全OBの組織、慶應志木会の時間となりました。鹿野会長から「志木会賞」の贈呈、恒例の志木会から寄付贈呈の後、そして圧巻は同期援指導部OB山崎君のリードで若き血斉唱。卒業40年を微塵も感じさせない力強いリードに一同感動です。伴奏は器楽部ですが、現在の志木高には応援指導部がないので、こういう形で歌うのは異例だとか。ちょっと驚きです。

体育館での式典の後、教員室の上階の会議室で立食パーティがありました。懐かしい教員も登場して楽しい会食となりましたが、お互い記憶が薄れ、補聴器を通しての会話となる場面もあり、また逝去された教員もおられ、改めて歳月を感じた次第です。ここでは学校のご厚意により会費負担無くご馳走になったのですが、なぜか志木会事務局により年会費の臨時徴収窓口開かれ、銀行に行く手間が要らないとのささやきにかなり滞留会費の解消が図られた模様です。その後体育館に戻って記念撮影。後日送っていただいた写真では、幸い酩酊顔の方はいませんでした。

さて、当日は夜の六本木で同期会が企画されており、卒業式に参列できなかった方々も集まりました。しかしながら昼の立食パーティで一杯飲んでしまった連中は夜まで待てず、お店を無理に開けてもらって予定よりだいぶ早めに開会。本来の開会時刻に合わせて到着した仲間は、すっかりできあがってしまっている面々を見て首を傾げながらもすぐに追いつき、夜が更けるのも忘れて（いる人も）おりました。平日の日中と夜間の企画なので出席の叶わない方も多かったと思いますが、次の恒例行事を楽しみにしたいと思います。

多少年齢に幅があるものの、正に還暦に向かわんという我々同期ですが、既に悠々自適の生活を謳歌している方もいれば、これから新しい仕事という方もいます。多感な時期を共に生き、長年に亘ってご縁を深めることができたことに感謝し、その原点である我が母校・志木高をこれからも見守っていきたいと思います。最後に学校側の丁寧なご配慮に厚く御礼申し上げます。（以上）



## 平成21年度慶應志木会 収支報告書（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

単位：円

収 入		支 出	
適 要	金 額	摘 要	金 額
前 期 繰 越 金	11,441,086	会 報 費	2,286,764
維 持 会 費	4,504,000	会 議 費	479,518
新 入 会 費	1,710,000	式 典 費	50,000
物 販 収 入	71,500	交 際 費	90,511
幹 事 会 費	153,000	通 信 費	19,750
預 金 利 息	2,202	振 込 費 用	9,850
		残高証明書発行手数料	1,000
		事 務 費	92,531
		パ ソ コ ン 関 連 費	196,914
		収 穫 祭 寄 付	300,000
		ホームカミングデー費用	125,365
		志 木 会 賞 費 用	91,875
		テ ニ ス 大 会 費 用	45,660
		卒 業 式 寄 付	300,000
		卒 業 生 ・ 新 入 生 記 念 品	412,650
収 入 小 計	6,440,702	支 出 小 計	4,502,388
		次 期 繰 越 金	13,379,400
合 計	17,881,788	合 計	17,881,788

## 預金残高明細（3月末現在）

(銀 行)	(種 別)	(適 用)	(管 理)	(残高金額)
り そ な	普 通	一 般	増 山	3,180,115
埼玉りそな	普 通	入会金	増 山	3,263,223
郵便局	振 替	会費口	増 山	4,764,200
郵便局	振 替	名簿代	増 山	0
三井住友	普 通	小 口	金 森	1,867,797
埼玉りそな	普 通	小 口	竹 内	303,575
り そ な	普 通	寄 付	増 山	490
合 計				13,379,400

## 監査報告

慶應志木会会則第18条に基づき、平成21年度（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の会計監査を実施いたしました。

その結果、会計処理につきましては適正に処理されていることを此処に承認します。

平成22年5月13日

監 事 千葉 宗雄

監 事 原田 薫

慶應志木会 役員・幹事・クラブ幹事

■役員■

名誉会長 下村 裕 (校長)  
 会長 鹿野 元章 (16期)  
 副会長 河野 文彦 (主事)  
 増山 治一郎 (17期) 財務担当  
 金子 博志 (20期) 情報管理担当  
 中村 弘司 (23期) 事業担当  
 山崎 嘉正 (26期) 総務担当  
 監事 千葉 宗雄 (13期)  
 原田 薫 (15期)  
 幹事 長 阪東 宗文 (16期)  
 事務局 長 山崎 嘉正 (26期)  
 幹事

事務局幹事 金子 康雄 (22期) 会報担当  
 小川 洋 (25期) 事業企画担当  
 山田 純男 (26期) 総務担当  
 金森 悟 (27期) 財務担当  
 相田 英文 (29期)  
 大澤 宏樹 (35期) 企画担当  
 岩崎 弾 (48期) 企画担当  
 大久保 佐太郎 (55期) 総務・会報担当  
 顧問 櫻井 英太郎 (1期) 大谷 熙 (1期) 龍野 和久 (1期)  
 宮田 勝 (5期) 多田 毅 (7期) 五老 輝彦 (9期)  
 荒木 幸生 (10期) 品川 雅貴 (12期) 本橋 重夫 (15期)  
 西村 孝一 (17期)

期	幹事							
1	藤井 淳	松本 仙太郎						
2	遠山 正秀	物滑 谷	河邊 勝利					
3	品川 仁	岩崎 勝利	菅野 光男					
4	藤岡 民良	高橋 公郎	伊藤 金次郎	三浦 靖夫				
5	寺嶋 延行	小林 石三	藤井 洵					
6	真野 信裕	松本 福太郎	茂木 光義					
7	熊崎 順次郎	鈴木 正治	渡辺 正均					
8	青木 宏至	品川 宗弘	大須賀 均	磯部 和宏				
9	南部 達雄	前田 克巳	佐々木 弘暢					
10	馬場 紘二	齊藤 彰						
11	馬淵 祥宏	鴻田 益孝	森原 孝夫	菅谷 正樹				
12	太刀川 俊男	川久保 達也	岡田 幸次郎	原田 雄介				
13	清水 武寿	椎野 開八郎	吉田 鋼一郎	山本 雄一				
14	小林 好二	築山 正俊						
15	小笠原 準一	倉山 伸二	深瀬 啓司					
16	川端 清治	工藤 親彦	近藤 隆夫	橋本 幸男	野口 信一			
17	荘 敬典	北村 基樹	前嶋 晶廣					
18	伊藤 博行	黒田 豊	徳永 良					
19	中西 廣策	星野 恭一郎	村上 功治	三浦 秀男				
20	中 一弥	杉 雅俊						
21	飯島 敏一	福地 敏之郎	内山 洋一					
22	櫻井 造	三木 哲一郎						
23	夏目 雅	梅澤 由起	森田 榮一	三義 英一				
24	赤木 均	島影 幸有	田沼 潔	京本 修				
25	高橋 宣行	島田 雅澄	善木 達明	澤田 尚史	中川 龍士	荻原 弘幸		
26	船山 剛	小池 雅利						
27	鬼頭 真一郎	永井 利宗						
28	大館 信	望月 一	測岡 繁					
29	大熊 伸治	鳥羽 克治						
30	岸田 一男	原田 仁敦	佐藤 正人					
31	荻田 健之	福島 聡	布施 浩之	梶原 靖友	内匠屋 健			
32	町野 素久	横江 資友	梅田 幸彦	鈴木 厚				
33	小玉 裕	河野 潔						
34	大内 正博	山下 孝	古長 玄一郎					
35	須佐 文忠	昌谷 健司	宇野 宏					
36	笹木 儀久	天野 徳雄						
37	鍋島 康友	永田 博詳	植島 博之					
38	知久 康成	中里 栄基	金子 隆則					
39	丸山 和紀	田中 浩樹						
40	井上 晴生	税所 篤史						
41	柏木 徹	三田 貴良						
42	安 重煥	小島 圭	御山 義明					
43	戴原 一暁							
44	宮田 真詩							
45	若松 洋雄	小山 一	小川 圭					
46	谷口 剛							
47	小寺 俊且	谷 嘉康	森 茂之	西本 祥仁	濱岡 勇介	小林 圭		
48	亀山 雄高	黒川 真行	寺西 富広					
49	石川 快	廣江 安彦						
50	高岡 功	徳田 征之	小林 敬英	齋藤 収				
51	石井 強太	森川 渉	浅岡 良彦	治田 和明				
52	毛呂 淳一朗	渡邊 慶太郎						
53	森岡 多門	林 憲						
54	塚本 大夢	中川 雅之						
55	池端 俊太	小泉 貴史						
56	大久保 匠馬	若林 隆晃	横澤 慶太					
57	和田 亮	時田 亜希夫						
58	宮山 明	佐藤 友紀						
59	箱崎 勇人	本多 清礼						
60	岡田 哲哉	中込 健太	工藤 雄太					

■クラブ幹事■

テニス部 田中 真介 (17期) バスケット部 南雲 保秀 (23期) バレー部 進藤 英典 (23期) 野球部 小川 光二 (17期)  
 サッカー部 中村 直人 (38期) 卓球部 浅生 潤 (23期) スキー部 渡辺 一仁 (51期) 枇杷の会 湯浅 善衛 (31期)



## 中年健康談

新宿ロイヤル診療所  
行武 裕隆

僕は現在、新宿駅南口近くで人間ドックをメインとした内科クリニックの院長をしている。長年消化器内科を専門にしてきたので、胃・大腸内視鏡の検査・治療も年間1,500件位実施している。最近、特に思うのは、病気には治る病気と治らない病気があること。そして、治療しなくても寿命に影響しない病気もあることだ。しかしながら、その辺の認識は曖昧に、ほぼ一律に疾患ごとに決められた検査、治療が繰り返されているところに問題がある。具体的に胃癌を例にあげると、亡くなったアナウンサーの逸見正孝さんが患ったのはスキルスという、たちの悪い進行癌、どんなに早くどんな治療をしても早晚命がもたないのだ。タレントの大橋巨泉さんが罹ったのはおそらく、たちの良い早期癌だ。彼は特に症状もなかったが、人間ドックで見つかって早く手術したから治ったと話している。しかし、極論すると、何もしなかったほうが寿命は長いかもしれない。術後のダメージは以外と大きいし、術中の転移の可能性もある。早期癌が必ず致死的な進行癌になるとは限らないのだ。健康寿命という観点から、どんな病気も早期発見、早期治療したほうが良いというものではない。でも医療訴訟が多いという現実もあって、何かと過剰な医療が横行しやすい。何もしないで訴えられたらたまらないからだ。肝心なことは病気の予防を日常から地道に心がけることだ。僕のところには、毎日アルコールやタバコを好き勝手に嗜好し、1年ごとにドックを受けて何もなかったとホッとして帰る受診者が結構いる。そうした人は検査以前に日常生活を見直さないと、突然に、たちの悪い治らない病気に襲われることにもなる。生活習慣病という言葉が近年定着したが、これは一つの病気というより、致死的な病気の予防のための概念だ。高血圧、脂質異常、糖尿病などだが、それら自体にはあまり自覚症状や病識がない。しかし放置すると、そこから心筋梗塞、脳卒中、腎不全、肝硬変さらには種々の進行癌に突然命を奪われる危険が高くなる。で、それらの予防に努めましょうということだ。だがここにも誤解があって、生活習慣をロクに改めなくてもクスリやサプリで生活習慣病の検査数値だけ良くしていれば問題ないと安易に考える人がいる。もちろん、積極的にクスリで血圧や血糖をコントロールしなければいけない場合も多くあるが、不必要にクスリやサプリを連用してその副作用で寿命を縮めていることもあることを忘れてはいけない。よく病は気からというが、病は過剰な医療から起こることもあるのだ。

### 編集後記

最後までお読みいただきありがとうございます。会報も今回で記念すべき30号です。前回より4ページ多い、20ページで作成いたしました。如何でしたでしょうか。

昨年、職場で志木高出身の先輩と一緒に仕事をする機会がありました。私が勤める会社のグループ会社の方なのですが、志木高の話題で大いに盛り上がりました。義塾出身者と言うだけでも盛り上がりますが、とりわけ一貫校——中でも志木高は特段、そういったところがあるように思います。(さたらう)

### 慶應志木会会報 2010 ●Vol.30

平成22年6月20日発行  
編集・発行 慶應志木会 (慶應義塾志木高等学校同窓会)  
〒353-0004 埼玉県志木市本町4-14-1  
発行人 鹿野元章  
印刷 (株)精興社  
ウェブサイト <http://www.keio-shikikai.jp/>  
メール [info@keio-shikikai.jp](mailto:info@keio-shikikai.jp)